

たたらまつり

「たたらまつり」は二部公民館まつりの愛称です。

平成十七年度は第二十二回で、二月十八日から二十日まで三日間にわたって開催され、人出も非常に多く賑わいました。

「たたらまつり」は二部地区年間最大の行事として定着し、住民のみならずの楽しいふれあいの場となっております。大勢の人が「みんな盛り上げよう」という気持ちでいろんな役割を分担し、非常にスムーズに運営されています。会場は多彩な展示物で、ところ狭いばかりです。

材料持ち寄りのぜんざいの無料サービスは、とてもおいしいと名物になっています。二階は「郷土の歴史」関係の展示で、



この行事のメインともいべき部門です。毎年テーマを設け、これまでに「ふるさとの辻 晉堂」「山根溪石遺作展」「昔の祝言展」「昔の子育て展」「苦しかった時代の衣と食」「ふるさとの年中行事」などを発表し、大きな反響がありました。十七年度は「衣類のうつりかわり」をテーマに明治期から昭和中期ごろまでの和服の数々を、式服・外出着・ふだん着・仕事着などに分類し、付属の品々とともに展示しました。

たたらまつり実行委員

今ではこのように多くの着物を一堂に集めることは少なく、懐かしく見ていただいたようです。そして今更ながらに和服文化の重みを感じ、これらを保存し常設展示するてだてはないものか、という声も多く聞かれました。

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

【編集】
議会広報特別委員会

委員長 野坂 明典
副委員長 大森 英一
委員 小村 公洋
影山 辰雄
細田 栄
遠藤 俊寛

夢を届けられる議会だよりにしたい、そのような思いで平成十八年度予算審議に望んだ。だが、今回の第五号でどれだけ明るいニュースを茶の間に届けられたのか、むしろ負担増をお願いする項目が多いような気がしてならない。

町は国が地方を切り捨てると云いながら、同じように周辺地域に疎かな政策を取っている。なにか一工夫ほしい気がするのには小生だけだろうか。

あれもこれもではなく、これとこれだけはこの最重要課題を選択し、身の丈にあった生活に切り替える時代はもうそこまで来ている。

本町議会も三月定例会より一般質問をノーカットでテレビ放送することにしました。町民皆様のご意見、ご批判を多数お寄せ下さい。(影山)

編集後記



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。